

ふちゅう

町議会だより

第166号

令和4年8月1日
広島県府中町議会



10年に1度の開花！ソテツの花

<目次>

- 6月定例会の概要・採決結果 2～3
- 町政のここが聞きたい 一般質問
歴史民俗資料館の活用方法は ほか 4～10
- 常任委員会レポート 11
- 議会運営委員会報告・議会の動き ほか 12



YouTubeで配信中

6月定例会の様を、
インターネット配信しています。
◆チャンネル名：府中町議会【公式】

※視聴環境により、通信料がかかる場合があります。

南小の校舎外壁を改修

南小 外壁を改修

府中南小学校の3校舎（築46年～55年）について、外壁の全面改修を実施します。

あわせて、軒裏（外壁面より外に出ている屋根部分）の下面コンクリートの剥落防止対策を実施し、建物の長寿命化を図ります。

施工面積は、3校舎あわせて約5,500㎡です。

【契約金額】1億274万円

【工期】令和4年6月末から令和5年3月31日まで。



6月定例会

令和4年第2回定例会を6月24日から28日までの5日間の会期で開催しました。

初日は町長報告を受けた後、一般会計補正予算をはじめとする町提出議案8件を審議し、すべて原案とおり可決しました。

27日からは一般質問を行い、28日は一般質問に引き続き、追加の一般会計補正予算1件及び議員提出議案2件を原案のとおり可決しました。

一般会計 補正予算

主な事業

一万円未満を四捨五入しています。

妊婦・特別給付金

4,106万円

令和3年度に引き続き、令和4年6月5日～令和5年12月3日に出産予定の人を対象に、感染症対策物品の購入や、産前産後サービス利用等のための給付金（対象者1人あたり妊娠1回につき5万円）を支給します。



給食費の補助

小中学校 1,255万円
町内保育所等 553万円

昨今のコロナ禍における物価高騰に対応し、保護者の負担が増加することなく安定的に給食を実施するため、町内小中学校7校と、保育施設等12施設に対して食材高騰分の補助金を支給します。

デマンドタクシーの運行

429万円

町内の公共交通不便地域（清水ヶ丘・桜ヶ丘地域）で試験運行中のデマンドタクシーを、令和4年8月から、実証運行した後、10月から本運行します。

「こころの相談室」設置

330万円

コロナ禍において厳しさを増している、経済・生活問題等に起因する心のケア対策として、福寿館2階の会議室を改修し、こころの相談室を設置します。





新宮橋（現況写真）

みくまり14号線（新宮橋）
架け替え工事

6,600万円

みくまり一丁目で工事を進めている補助街路みくまり14号線について、県との河川協議が整い、榎川に架かる新宮橋の架け替え工事を行います。工期は令和4年6月末から令和5年3月31日までで、現地の工事は主に渇水期（10月以降）に実施予定です。

定例会の採決結果

全会一致で決定したもの

◆町長提出議案

議案・概要	結果
令和4年度府中町一般会計補正予算（第2号）	可決
府中町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決
府中町税条例等の一部改正について	可決
府中町国民健康保険税条例及び府中町介護保険条例の一部改正について	可決
工事請負契約の締結について ・府中南小学校校舎外壁改修工事	可決
工事請負契約の締結について ・みくまり14号線（新宮橋）道路改良工事	可決
人権擁護委員の候補者の推薦について	適任
監査委員選任の同意について	同意

議案・概要	結果
令和4年度府中町一般会計補正予算（第3号）	可決

◆専決処分

議案・概要	結果
令和4年度府中町一般会計補正予算（第1号）	承認
府中町税条例の一部改正について	承認
府中町都市計画税条例の一部改正について	承認
府中町国民健康保険税条例の一部改正について	承認

◆議員提出議案

議案・概要	結果
地方財政の充実・強化に関する意見書	可決

賛否の分かれたもの

◆議員提出議案

※議長は採決に加わりません。

議案・概要	結果	川上翔一郎	宮本 彰	西山 優	狩野 雄二	坂田 栄一	田中 伸武	山口 晃司	二見 伸吾	梶川三樹夫	西 友幸	寺尾 光司	力山 彰	三宅 健治	齋藤 昇	益田 芳子	橋井 肇	児玉 利典	木田 圭司	
賛成：○ 反対：× 欠席：欠 退席：退																				

地方経済活性化と地方の持続的発展のために「自動車関係諸税の簡素化」を求める意見書

「当分の間税率」や、2重課税の解消など、自動車関係諸税の簡素化とカーボンニュートラル促進を求めるもの。

可決 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ × ○ ○ ○ ○ ○ ○ 議長 ○ ○ 欠

町政のここが聞きたい

一般質問

町行政全般に対し、14件の一般質問が13人の議員から提出され、町執行部の所信をたしました。

※各議員の質問欄に掲載しているQRコードから、YouTubeによる録画映像がご覧になれます。



最新技術を取り入れた展示



西 友幸 議員



二見 伸吾 議員



梶川 三樹夫 議員

西議員
問 来館者を増やすため、どのような事業展開を考えていますか。

答 今年度は、下岡田官衙遺跡国史跡記念シンポジウムやふるさと再発見講座を開催するほか、ギャラリーの有効

活用を考えています。4月のオープンニングでは「府中町とマツダの百年、そして未来」と題した企画展を、6月からは「水分森林公園豪雨災害からの復旧」と題した企画展を行っています。

このほか昆虫展や下岡田遺跡のパネル展な

問 歴史民俗資料館の活用方法は

答 歴史文化の学習の場とする



ど町主催の企画展を3

回程度開催し、来年度以降も年3、4回程度開催する予定です。

問 下岡田官衙遺跡をどのように町内外にPRされますか。

答 記念シンポジウムや講座の開催のほか、町公式ホームページや「広報ふちゅう」への紹介記事の掲載を考えています。

問 歴史民俗資料館を拠点に、町内の史跡や文化財を散策できるような事業展開は。

答 スポーツ事業と連携し、歴史民俗資料館をスタート地点として、クイズを取り入れたウォーキング事業を企画

する予定です。

二見議員

問 これからの博物館は、多様化・高度化する学習者の知的欲求に応え、自主的な研究グループやボランティア活動などを通じて、学習者とのコミュニケーションを活性化していく必要があると言われております。教育普及活動を重視し、テーマを持つ総合博物館をめざす考えがありますか。

答 府中町歴史・文化財ガイドクラブによる調査研究や「ふちゅう大好きキッズ育成プロジェクト事業」での講座のほか、公民館活動で学ばれた成果をまとめるなど、さまざまなテーマをもった催しを公

民館と協働で企画し、誰もが気軽に立ち寄り、学べる歴史民俗資料館としていきたいと考えています。

梶川議員

問 学校教育での施設見学学習の計画はありますか。

答 歴史民俗資料館を学習の場として活用するため、本年4月に町教育委員会が学習指導案を作成し、町内小学校へ提示しています。

小学6年生の社会科で、単元名を「府中で実感！ 律令国家の世界へGO！」府中町歴史民俗資料館見学を通して」と題し、律令国家の仕組みについて学びます。その後、歴史民俗資料館で、木簡や



暮らしの道具を通して、移り変わりを学ぶ

安芸の国の駅家^{うまや}など、実際に資料を見学したり、説明を受けたりして、実感を伴った理解ができるようにします。また、小学3・4年生の社会科においても「人々のくらしのうつりかわり」や「郷土の

伝統文化と先人たちの単元で、資料館を活用するよう働きかけていきます。その他、来年度から使用する小学校の社会科副読本に下岡田官衙遺跡について新たに盛り込むよう改訂作業を

進めるほか、中学生が歴史民俗資料館を学習の場として活用できるよう学習指導案の作成を現在検討しています。

二見・梶川議員

問 学芸員の配置、職員体制についてどのような考えをしていますか。

答 下岡田官衙遺跡は、埋蔵文化財として国史跡指定を受けており、埋蔵文化財の保存活用や歴史民俗資料館の展示物の管理などの業務を行うためには、これに精通した職員の配置が必要と考えています。現在、学芸員はいませんが、発掘調査の経験がある会計年度任用職員を1名雇用しています。

学芸員の配置は必要だと考えますが、資格の有無とは別に、埋蔵文化財の調査などの知識や技能がある人材を雇用していきたいと考えています。



橋井 肇 議員

問 パブリックコメントの活用は

答 意見増に繋がる工夫を検討



問 パブリックコメント（意見公募手続制度）とは、町の基本的かつ重要な計画について案を公表し、この案に対して町民の皆さんから出された意見・情報を考慮して町の意思決定を行う手続きです。しかし、これまでの実施状況を見ると、せっかくの制度の形骸化を感じます。パブリックコメント制度を導入した経緯と実績を伺います。

答 町民に分かりやすく透明性の高い行政を更に推進するため、町が施策を決定する過程で町民に情報開示し、町民の意見を反映させていく仕組みとして、平成27年度から導入しています。導入後7年間

で、実施した27事案に対して35件の意見が寄せられました。

問 現状の課題と今後の方向性は。

答 募集期間や周知方法の設定もありますが、提出意見の少なさが最も大きな課題と考えて

います。実際に、27事案のうち、17事案で意見がありませんでした。せっかくの機会ですので、町民と行政の協働によるまちづくりに興味を持っていただけるよう、入口での工夫について研究・検討を進めます。

計画案へのご意見を募集します

計画案

「府中町公共施設等総合管理計画」(改訂)

府中町では、公共施設等の維持管理・更新等の方向性を示す行動計画に位置付けられるものとして、平成 29 年度から 20 年間の計画期間である「府中町公共施設等総合管理計画」を策定し、取り組みを進めてきました。この計画について、令和3年度をもって計画策定から5年が経過し、また国からの通知等により見直しの要請がなされていることから、これまでの取り組みや策定済の個別施設計画の内容を踏まえ、中間見直しを行うこととしました。

このたび、改訂案がまとまりましたので、皆様からのご意見を募集するため、次のとおり意見募集（パブリックコメント）を実施します。

より多くの意見が寄せられることを期待



齋藤 昇 議員

問 学校での歯の健康指導は

答 様々な機会です指導を実施



歯科衛生士による歯磨き指導

問 歯の健康について、乳歯の生え変わる前の幼児から中学生まで教育していく必要があると考えます。

答 特に、歯周病などによる内臓疾患への影響を考えると、子どものうちに内科・歯科画面

から総合的に自己管理を行う知識を得る機会が必要だと思います。そこで、小中学校での歯に関する指導内容について伺います。

行っています。具体的には、小学校6年生の体育や、中学校2年生の保健体育で、食べ物に気を付けたり、正しい歯磨きを行うことで、むし歯や歯周病を防ぐことができます。また、担任と養護教諭が、写真や映像を使って指導することで、学んだ知識を生活の中で活かすことができるよう工夫しています。そのほか、小学校では、歯科衛生士を招いた歯磨き指導や学習を行い、生涯を通じて健康な歯を保つための活動もなっています。また、家庭での指導も重要であり、今後あらゆる機会を捉え、歯の健康を保つ必要性を指導していきます。



Web版ハザードマップも作成中



寺尾 光司 議員

問 洪水浸水リスクの周知は

答 広報・HP等で周知



問 府中町の洪水浸水想定は、これまで府中大川と猿猴川が対象でしたが、今年1月、榎川と八幡川も対象となりました。榎川と八幡川が対象となった目的・背景を伺います。

できるよう、住宅などがある地域を流れる中小河川も対象となりました。

問 榎川と八幡川が対象になったことで、避難等の影響を受ける地区はどの程度ありますか。

答 近年の水災害の激甚化・頻発化により、大河川以外の氾濫で人的被害が発生しています。このため、令和3年7月に法律が改正され、住民が早期に避難判断

答 これまでの想定と比較して、16町内会に影響が及びます。これらの町内会長には直接説明を行い、今後も連携をとっていきます。なお、県のサイト

「洪水ポータルひろしま」にも想定区域図が掲載されていますので、事前にご確認頂きたいと思えます。

問 町民への周知方法は、
答 広報、ホームページへの掲載、町内会回覧を行います。また地域に出向き、出前講座も行います。併せて、町ホームページにウェブ版ハザードマップの掲載も進めており、年度内に完成予定です。

その他の質問
・宅配ボックス等の設置導入助成について





児玉 利典 議員

問 待機児童の解消について

答 保育所の新設を準備



問 今年に入り、保育園等に入園できないという相談を多く受け、待機児童が増加しているのではと感じています。そこで、町内の待機児童の状況を伺います。

答 国の基準に当てはまる待機児童はいませんが、その基準に外れる潜在的な待機児童が増えています。

令和4年度の潜在的な待機児童は159人、昨年度の同時期から倍増している状況です。

問 これまでの対策は。

答 既存保育所の定員の増員、小規模保育所の新設、また令和2年度には120名定員の認可保育所を新設するなど、保育の受け入れ枠

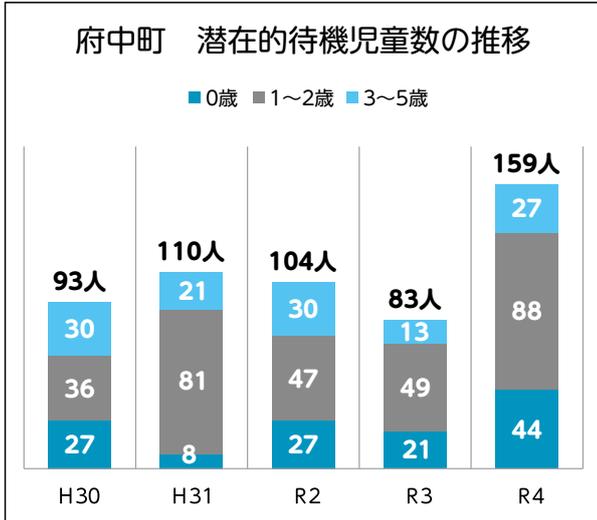
の拡大や保育サービスの充実に取り組んできました。

問 今後の対策は。

答 潜在的待機児童数や、今後の女性の就業率向上等による保育需要の増大のため、100名定員の保育所の新設が

必要と考えています。今年度は、運営主体となる法人を公募し、令和6年4月1日に開園できるよう準備を進めます。また、それまでの間も、各家庭に合ったきめ細やかな情報提供など、できることから対応を進めていきます。

府中町 潜在的待機児童数の推移



保育の受け入れ枠拡大が急務

問 町内会加入率の現状と対応

答 町内会との連携を密に



宮本 彰 議員

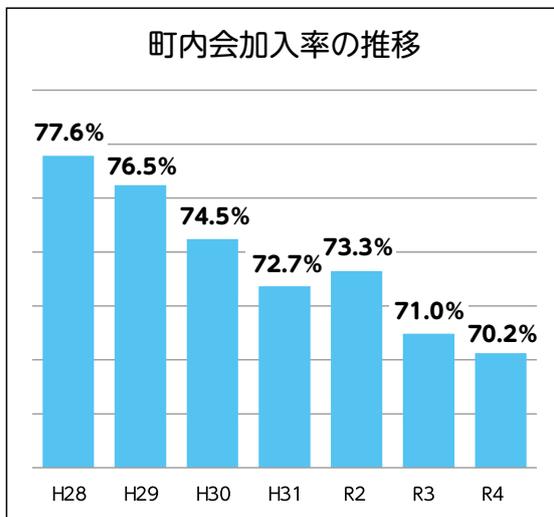
問 府中町第4次総合計画に掲げるまちづくりビジョンを実現するため、重点的に取り組む事業を示すものとして後期実施計画が策定されています。この実施にあたっては、町内会との協働は不可欠だと思います。そこで、町内会加入率の推移について伺います。

答 平成28年度（令和4年度の7年間で7.4%の減少という厳しい結果となっています。

問 町内会から町への要望事項と、その対応は。

答 町では、令和3年度から、全ての町内会を対象とした「府中町地域懇談会」を開催しています。この懇談会は、

町内会加入率の推移



減少が続く、町内会加入率

約2年間をかけて開催し、町長及び関係部署の職員が、町内会の代表者の皆さんと地域の課題について、連携・協力して問題解決するため、意見交換を進めています。

答 広報紙への掲載、場窓口や町内不動産事業者を通じて加入促進チラシの配布、町内会向けの課題解決セミナーなどを行っています。今後も、町内会と連携して、様々な取り組みを進めていきます。

問 町としての町内会加入率向上の施策は。



狩野 雄二 議員

問 高齢者向け新規事業の状況

答 事業の周知・活用を進める



問 府中町高齢者福祉計画、第8期介護保険事業計画において、現在、4つの新規事業に取り組んでいます。まず、高齢者いきいきポイント事業の実績と参加率の状況について伺います。

答 この事業への参加者は、3062人で、参加率は24%であり、目標の30%に届きませんでした。参加率向上のため、対象者へのチラシ送付など、周知を進めていきます。

答 関係課で連携を図り、双方の事業を効果的かつ効率的に進めるため、昨年度から、調整役の保健師を配置しています。

問 認知症サポーター活動推進事業の状況は。

答 サポーター養成講座を行うほか、サポーターを中心とした支援チームの立ち上げの準備を進めています。

問 見守りシールの導入と活用状況は。

答 家族へ発見通知メールが届くサービスで、令和3年度末までの登録者は13名です。引き続き、普及と周知を進めます。



田中 伸武 議員

問 高齢者の移動支援事業は

答 情報収集しながら検討



社会福祉協議会が運営する「いくでえ」号

であり、目的が違ったため直接の影響は少ないと考えています。また、存廃の方針については、現在のところ詳しく聞いていません。

問 福祉交通と公共交通のあり方、また地域的対応と広域的支援など、事業の組み合わせや調整といった総合的な施策、立案をどう図っていきますか。

答 福祉交通は車両への乗車または降車の介助等を行います。広域支援としては路線バスとつばきバスが町内を運行し、地理的支援として、デマンドタクシーの運行により、公共交通不便地域の交通手段が確保されています。



みんなで支えあうまちを目指して

問 府中町社会福祉協議会が行っている移動支援事業「いくでえ」の実績と評価は。

答 コロナ禍の影響を受け、令和2年度からは利用者が減少傾向となつていますが、それ以前は毎年利用者が増加しており、一定の利用があることから成果を

出していると考えています。

問 デマンドタクシーと競合するのは、「いくでえ」存廃の方針、町内会や社会福祉協議会との協議はどうなつていきますか。

答 デマンドタクシーは公共交通不便地域における交通手段の確保策



木田 圭司 議員

問 防犯カメラ等の活用は

答 可動式カメラを新設



問 街頭防犯カメラの設置台数、設置場所及び設置基準については。

答 町内主要交差点12か所（計24台）に設置しています。警察からの助言や地域関係団体との協議により、設置していますが、明確な基準はありません。

問 資源物の持ち去りのあるごみステーションなどへの防犯カメラ設置予定は。

答 今年度、可動式の防犯カメラを持ち去り案件や不法投棄の多いごみステーションなどに順次、設置し、持ち去りや不法投棄の防止、事実確認に活用していく予定です。



町内の主要な交差点に設置

問 町はドローンを所有していますか。また今後の予定は。

答 町はドローンを所有していませんが、令和元年10月に民間事業者と協定を締結し、災害

時にドローンを使って速やかに調査活動ができるよう取り組んでいます。今後も、災害時のみでなく、人の手が届きにくい場所での調査など、必要な場面でドローンを活用していきます。



川上 翔一郎 議員

問 スタンプラリーの成果は

答 事業者支援の効果があつた



問 新型コロナウイルス感染症緊急対策として実施したスタンプラリー事業において、「カードが入手できなかった」という声がありました。なぜスタンプカードを町民に直接配布しなかったのかを伺います。

答 この事業は、台紙を加盟店舗で発行し、4店舗のスタンプが押された台紙が割引券として利用できる制度としました。町民の皆さんに町内の事業者を周遊してもらうことが目的です。22,000枚の配布を見込んでいましたが、最終的に22,664枚が割引券として利用されました。

「スタンプラリーの台紙配布方法が分かりにくかった」「問い合わせの際、取扱店の対応が不十分であった」などの意見もありました。

しかし、当初の見込みを上回る利用があり、事業者支援という目的は達成できたと考えています。

問 「中小企業等のための新型コロナウイルス感染症拡大防止対策助成金」の評価は。

答 感染対策に寄与し、町内事業者に対しての消費喚起、販売事業者の売上増加に繋がったと評価しています。反省点は、事業者によって助成金の給付に時間がかかったケースがあつたことです。



町内店舗の周遊を目的に実施



山口 晃司 議員

問 歩道のあり方は

答 安全確保を重視



誰もが安全に通行できる歩道に

問 町内の歩道には電柱や街路樹などがありますが、街路樹は、環境対策や景観形成の役割がありますが、歩道のかなりの幅を占め、高齢者や親子連れにとって障害となる可能性があります。歩行者の通行の安全性を重視して街路樹を

撤去し、歩行空間を広げることについて、町の考えを伺います。

答 府中町第4次総合計画においては、計画的な都市整備の推進として、道路や公共施設等のバリアフリー化を推進し、移動空間等の質の向上を図ることとしています。

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく基準では、ベビーカーや車いすの人、高齢者等が安全に歩道を通行するため、歩行者の交通量の多い歩道は3・5m、その他の歩道で2m以上の幅員を確保することが望ましいとされています。

街路樹は、道路の景観や車両の通過音の緩和、防塵等を目的としてきました。しかし、近年は倒木、水害、日照、歩行者等の視認性など課題もあります。今後は、倒木の危険性のあるものや周囲を見えにくくするものについて、伐採後の歩道拡幅も視野に入れ、歩行者の安全確保に努めたいと考えています。

全員協議会報告

つばきバス、デマンドタクシーの事業計画等の見直し

5月24日に開催した全員協議会で、町内を循環するコミュニティバス「つばきバス」と町内の公共交通不便地域（清水ヶ丘・桜ヶ丘地域）へのデマンドタクシー（乗合タクシー）の導入について説明を受けました。

つばきバスの運行見直し

（令和4年10月～）

◆内容

- ・現在の実証運行のルートで本運行に移行。
- ・運賃を150円に改定。
- ・小学生、障害者割引を導入。（半額に）
- ・30日間定額サービスを導入。

◆主な意見・要望

- ・時刻表の改善など、利用しやすい周知に努められたい。
- ・今後も、連続立体交差事業などの進捗にあわせた見直し等を検討されたい。
- ・事業者と連携した利用促進策などを検討されたい。

デマンドタクシーの導入

（令和4年8月から実証運行、10月本運行開始）

◆内容

- ・清水ヶ丘・桜ヶ丘両町内会区域が対象。
- ・5人乗りタクシーで1日7便運行。（土曜日は6便、日祝運休）
- ・運賃は200円（要予約）
- ・小学生、障害者割引を導入。（半額に）

◆主な意見・要望

- ・過度な財政負担とならないよう、運行開始後も利用促進や運行改善に努められたい。



委員会レポート

3つの常任委員会(総務文教・厚生・建設)の活動状況を報告します。

総務文教委員会

計画的な公共施設の維持管理・更新について説明

◆第2回委員会(4月18日開催)

- 年度当初の児童生徒数について
- 【児童生徒数】※5/1現在
(小学校) 3,128人
(中学校) 1,177人

◆第3回委員会(6月13日開催)

- 公共施設等の維持管理・更新の方向性を示す計画として策定した「府中町公共施設総合管理計画」について

厚生委員会

新たな保育所の設置に向けた公募などについて質疑

◆第3回委員会(4月19日開催)

- 一堂に会する敬老大会の中止や大会に代わる事業の実施など、今後の敬老事業について
- 第11次府中町交通安全計画、府中町第4次男女共同参画プラン完成の報告について
- 下水道事業に関する令和4年度の工事計画について
- 下水道整備工事(府中1号幹線など)の変更契約について

◆第4回委員会(6月14日開催)

- 潜在的な待機児童解消と、今後の女性の就業率向上等への対応のため、保育所等(100名定員)の設置・運営主体となる法人を公募することについて
- 雨水ポンプ場(宮の町・茂陰)のポンプ各1台の分解整備工事と、下水道整備工事(みくまり一丁目)に関する契約について
- 下水道整備工事(山田二丁目)の変更契約について

建設委員会

道路整備や区画整理事業工事計画の報告

◆第2回委員会(4月20日開催)

- 令和4年度に予定している道路整備や向洋駅周辺土地区画整理事業などの工事計画について
- 町内一円の町道・県道の維持・補修に関する契約について
- 林道呉婆々宇線災害復旧工事など、4件の変更契約について

◆第3回委員会(6月15日開催)

- 労務単価変更に伴う町道・県道等維持・補修工事の変更契約について
- 通学路安全確保に向けた道路工事(宮の町41号線)の早期整備完了のために行った変更契約について



委員からは、施設複合化の検討や定期的な施設点検の状況について意見が出されました。



議会用語の基礎知識① 常任委員会



◆常任委員会とは？

常任委員会は、町の仕事を部門に分け、所管する事項や特定の事件について、専門的・能率的に審査するために設けられています。府中町議会では、総務文教・厚生・建設の3つの委員会があり、全ての議員が、いずれかの常任委員会に属しています。

◆委員会では何をしているの？

常任委員会は、委員会が所管する部門についての調査を行い、議案、請願等を審査する権限があります(地方自治法109条2項)。町政の各分野における課題の解決に向けて、調査を行い、町に対して具体的な政策や施策を積極的に提案しています。

◆委員会の構成

● 総務文教委員会 (6人)

重要施策、財務、消防、防災、学校教育、社会教育など、総務企画部・危機管理監・財務部・教育委員会を担当。

● 厚生委員会 (6人)

子育て・福祉、防犯、ゴミの収集、環境保全など、福祉保健部・町民生活部を担当。

● 建設委員会 (6人)

道路、公園、向洋駅周辺区画整理など、建設部を担当。

議会の動き

4月

- 12日 議会報特別委員会
- 18日 総務文教委員会
- 19日 厚生委員会
- 20日 建設委員会
- 28日 議会報特別委員会

5月

- 24日 全員協議会

6月

- 13日 総務文教委員会
- 14日 厚生委員会
- 15日 建設委員会
- 22日 議会運営委員会
- 23日 議会報特別委員会
- 24日～28日 6月定例会
- 28日 議会報特別委員会

議会運営委員会報告

定例会 すべての議事の配信を決定

6月定例会前の議会運営委員会を6月22日に開催し、定例会の運営について協議を行ったほか、インターネット配信について、「6月定例会からの本放送では、議事のすべての内容を配信する」と決定しました。

◆6月定例会（1日目から最終日3日目まで）の様子は、府中町議会【公式】YouTube（ユーチューブ）チャンネルで配信中です。

※町ホームページからもご覧いただけます。



スマートフォンからも視聴できます。 府中町議会【公式】チャンネル

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は9月上旬の予定です。



事前申し込みは不要です。
ぜひ、お気軽にお越しください。

表紙の紹介



府中大橋近くのコンビニの駐車場に、10年に1度開花すると言われているソテツの花が咲いていました。今回は、コロナ禍という大変な時期の開花でしたが、10年という時の流れの中、次に開花する時は、アフターコロナの素晴らしい世の中にならなければならないでしょう。

編集後記

議会活動がより伝わる紙面づくりを、私たち議会報特別委員会は検討してきました。今号がその成果で、主な変更点は3つです。

第一に、一般質問の掲載スタイルを変えました。一つひとつの質問のすぐあとに答弁が来るようにし、この質問の答弁はどれかと探さなくても分かるようになっていきます。また、質問者ごとにQRコードを付けましたので、スマホカメラで読み取れば質問の動画を視聴することができます。

第二に、「採決結果」を新たに掲載しています。全会一致で決定したものは結果を、賛否の分かれたものは議員一人ひとりの賛否を一覧表にしました。

第三に、各常任委員会の活動報告（「委員会レポート」）です。常任委員会は本会議とともに議会の重要な機関であり、細やかな審査や調査ができます。今後、この委員会の動きをお伝えします。

読まれ、伝わる「町議会だより」になるよう引き続き、努力したい。

（二見 伸吾）